

2年 技術・家庭科（家庭分野）学習案内

1. 使用教科書 技術・家庭 家庭分野（開隆堂）

2. 学習の目標

生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、衣食住などに関する実践的・体験的な活動を通して、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し創造する資質・能力を育成することを目指す。

- (1) 家族・家庭の機能について理解を深め、家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて生活の自立に必要な基礎的な理解を図るとともにそれらに係る技能を身に付けるようにする。
- (2) 家族・家庭や地域における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなど、これからの生活を展望して課題を解決する力を養う。
- (3) 自分と家族、家庭生活と地域との関わりを考え、家族や地域の人々と協働し、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し創造しようとする実践的な態度を養う。

3. 評価の観点・方法

評価の観点		方法
知識・技能	生活の自立に必要な家族・家庭、衣食住、消費や環境などについての基礎的な理解と、それらに係る技能	・授業の行動観察 ・作品 ・ワークシート ・学習カード ・定期テスト
思考・判断・表現	家族・家庭や地域における生活の中から問題を見いだして課題設定し、これからの生活を展望して課題を解決する力	・授業の行動観察 ・発表 ・ワークシート ・学習カード ・レポート・定期テスト ・作品
主体的に学習に取り組む姿勢	家族や地域の人々と協働し、よりよい生活の実現に向けて生活を工夫し創造しようとする実践的な態度	・授業の行動観察 ・発表 ・ワークシート ・学習カード ・レポート ・定期テスト ・作品
(1) 上の観点について、それぞれA～Cの3段階で評価する。		
(2) 学習のまとめごとにA～Cの観点別評価を総合して、1～5の5段階で評定する。		

4. 学習計画

	領域	学習のねらい	学習内容
前期・後期	C消費生活・環境	課題をもって、持続可能な社会の構築に向けて考え、工夫する活動を通して、消費生活・環境に関する知識及び技能を身に付け、これからの生活を展望して、課題を解決する力を養い、身近な消費生活・環境について工夫し創造しようとする実践的な態度を育成する。	・消費生活・環境についての課題と実践
	B衣食住の生活 住生活	課題をもって、健康・快適・安全で豊かな住生活に向けて考え、工夫する活動を通して、家族の生活と住空間との関わり、住居の基本的な機能、家族の安全を考えた住空間の整え方に関する知識及び技能を身に付け、これからの生活を展望して、課題を解決する力を養い、住生活について工夫し創造しようとする実践的な態度を育成する。	・住居の機能と安全な住まい方 ・家族の安全を考えた住空間の整え方の工夫
	B衣食住の生活 衣生活	課題をもって、健康・快適・安全で豊かな衣生活に向けて考え、工夫する活動を通して、衣服の適切な選択や着用、衣服の計画的な活用、日常着の手入れ、製作に関する知識及び技能を身に付け、これからの生活を展望して、衣生活の課題を解決する力を養い、工夫し創造しようとする実践的な態度を育成する。	・衣服の選択と手入れ ・生活を豊かにするための布を用いた製作